

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
学問と人間の探求 Study on Academics and Human Beings		全学科	1年次	通年
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	2	必修		
概要				
<p>建学の精神（「至心」を持って事に当たる）に則った学問の仕方、「学問をする」ということを軸にした学生生活の送り方、将来の進路の設定等について考える。併せて、人間としての存在のありよう、将来の自分を見通しながら、自分をどのように育てていくのかということも考察する機会とする。</p> <p>また、急激に変化する社会の中で、「豊かに生活していく」ということを大切にしながら生きていくためには、新しい様々な教養を身につけながら生きていくことが求められる。</p> <p>そのようなことを踏まえ、「考え抜く」、「学修」、「生活」、「創る」、「働く」、「ワークルール」などの言葉をキーワードに、「共に生きる」、「共に育つ」時代の基本的な教養を考えていく。</p>				
到達目標				
<p>(1) 学修する力を身につける「容」を創ることができる。</p> <p>(2) 「学修」、「生活」、「創る」等をキーワードに「豊かな生活」ということを探求することができる。</p> <p>(3) 自分の人生をイメージしつつ、将来の課題を多面的に考えることができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
【前期】 1 前期授業オリエンテーション 2 「学び方」を学ぶ 3 「現代社会の中で、豊かに育つための学び」とは 4 「建学の精神」について 5 「豊かに生きる」を考える情報の一つとしての建学の精神 6 「交通安全について」 7 交流を通して「他国を知る」 8 自分自身の問題としての「環境問題」Ⅰ 9 「裁判所の役割、裁判員制度」 10 「変化する地球」を考える。 11 自分自身の問題としての「環境問題」Ⅱ 12 「エネルギー問題」についてグループで考える。 13 各グループで「エネルギー問題」を発表する。 14 自分の考えを言語でまとめる～レポートの書き方～ 15 前期の振り返りとレポート		【後期】 1 後期授業オリエンテーション 2 生活者として現代を生きる①－問題提起－ 3 生活者として現代を生きる②－具体的考察－ 4 「自分の生活を創る」ための基礎 5 「自分の生活を創る」を具体例から考える 6 「働く」ということ「生活」 7 「ブラック企業」からみる現代社会の問題点 8 「ワークルール」の基礎知識 9 「ワークルール」を歴史的に考える 10 「働く」ということの意味を考える 11 日常生活にある「闇」（DV）の実態 12 DVを「学修する」ことで「豊かな生活を創る」 13 「共に生きる」、「共に育つ」ということ 14 「豊かな生活」と「美術」 15 自分の「学び」の課題を見つける（レポート）		
テキストおよび 参 考 文 献	【参考文献】 NHK「無縁社会プロジェクト」取材班『無縁社会』文藝春秋、中村攻著『心豊かなくらしのデザイン』新日本出版社、徳永俊明著『「生活」とは何か』合同フォレスト			
メ ッ セ ー ジ な	大学で学ぶということは、単に知識を覚えるだけではなく、新しい知識を知り、それを深く理解し、それらを「駆使する」ことで自分の言動が豊かになり、自分の世界が広がり、そして、「自分の生活が豊かになる」という、学び本来のあり方を感じ・考えながら、「学習」から「学修」への移行をしていってほしい。			

ループリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 学修する力を身につける「容」を創ることができる。	学修に取り組む「容」をほぼ完璧に創ることができる。	大きな間違いがなく、学修に取り組む「容」を創ることができる。	間違いはいくつかあるが、学修に取り組む「容」を創ることができる。	学修に取り組む「容」を創ることができない。	課題レポート（関心・意欲・態度）	30%
(2) 「学修」、「生活」、「創る」等をキーワードに「豊かな生活」ということを探求することができる。	ほぼ完璧に探究することができる。	大きな間違いがなく、探究することができる。	間違いはいくつかあるが、最低限、探究することができる。	探究することができない。	課題レポート（関心・意欲・態度・知識・理解）	40%
(3) 自分の人生をイメージしつつ、将来の課題を多面的に考えることができる。	将来の課題を多面的にとらえ、ほぼ完璧に自分の考えを述べることができる。	将来の課題を多面的にとらえることに大きな間違いはなく、自分の考えを述べることができる。	将来の課題を多面的にとらえることに努力を要し、最低限の自分の考えを述べるることができる。	将来の課題を多面的にとらえて考えることができない。	課題レポート（思考力・判断力・表現力）	30%